

新穂の穂り



文武両道を目指す学校②

「一番忙しい人が一番多くの時間をもつ」

校長 大谷直治

5月の市陸上大会、6月の市体育大会と、次頁のように素晴らしい成果を収めました。生徒の頑張りを支えた保護者の皆様の理解・応援、顧問の先生の熱意、そして母校を愛する地域のコーチ（ソフトテニスの渡部茂さん、バレーボールの相田忠明さん、バスケットボールの金子恵久さん）の方々に深く感謝申し上げます。様々な人間的触れ合いを通して、生徒が大きく成長した姿を見ることができました。

そんな時、20年前に新穂中生であった大屋美波（その後、アメリカで活躍する救急救命病院の看護師として『立志元服式』（H25.1）の講師となる）さんから、当時教えてもらった標題の言葉を思い出しました。放課後、土日を含めて多くの時間を陸上や球技の時間に費やしました。同時に、多くの生徒は「部活だけやっているとはいけない」との言葉をかみしめながら、学習にも力を入れてきました。目標達成を本気で目指し時間を大切にすることこそ、人として成長する機会が生まれると考えます。生徒が自ら成長を実感できるためには、学習でも部活動でももう一歩の決意が必要との願いこめて、6月の全校朝会で以下の講話を行いました。（↓男＝生徒、お釈迦＝教師と考えます。）

あるとき、お釈迦さまが天上から人間の世界を見てみると、一人の男が汗をふきふき荷車を引いていた。やがて荷車がぬかりみにはまり、押しても引いても動かなくなってしまう。困った男はだれかに手伝ってもらおうと、道端に座って人が通りかかるとのを待つことにした。しかし、そういうときにかぎってだれもやってこない。時間ばかりむなしく過ぎ、とうとう日が暮れかけてきた。男はやっと心を決めて立ち上がり、自力で荷車をぬかるみから引っ張り出そうとはしはじめた。

この様子を天上から見ているお釈迦さまは、男が人に頼らず、自分の力で問題を解決しようとしたときにはじめて、「見えない手」を伸ばし、その指先で荷車を押しやっした。

すると荷車はあっさりとなぬかるみを抜け、何ごともなかったかのようにカラカラと音を立てて動き出した。

もちろん、男はお釈迦さまが押ししてくれたことにまったく気づいていない。自分の力で引き出したと思っっている。もし、お釈迦さまが「私が押してあげたのですよ」といえば、男は恐縮してお礼をいうだろう。

しかし、また同じように困ったことが起きたとき、「こんどもお釈迦さまが助けてくれるだろう」と頼る心が生まれるかもしれない。そこでお釈迦さまは、気づかれず、知らせもせず、だまって見えない指で押してやったのである。

（みずから伸びる人を育てる） 有田和正著 サンマーク出版

生徒の栄光

佐渡市中学校陸上大会（5月22日）

<第1位> 女子 1年の部	走幅跳	土屋美晏 フラガ (1年)	4 m 2 4
<第2位> 男子 1年の部	走幅跳 4 × 1 0 0 m R	飯田 聖人 (3年) 北川 彦輝 (2年) 中小 海辰 (1年) 本坂 洋威 (1年) 土成 美友 (1年) 本 美 (1年)	5 m 2 9 1 m 4 5 5 5 秒 2 8 1 4 秒 2 7 5 8 秒 6 3
女子 1年の部	1 0 0 m 4 × 1 0 0 m R	ラガ (1年) ラガ (1年)	1 4 秒 2 7 5 8 秒 6 3
<第3位> 男子 2年の部	三走段跳 四種種競技 4 × 1 0 0 m R	木下 洋一 (3年) 本 藍 (3年) 土 藍 (2年) 川 原 (2年) 橋 上 (2年) 小 本 (1年) 中 池 (1年) 本 多 (3年)	1 1 m 2 6 1 7 m 0 5 5 3 秒 2 0 1 7 秒 4 8 1 3 6 8 3 点
男子 1年の部	1 0 0 m H 四種種競技	フラガ (2年) フラガ (2年) 本 池 (1年) 川 多 (3年)	1 7 秒 4 8 4 5 8 3 点 1 3 6 8 3 点
<第4位> 男子 1年の部	2 0 0 m 8 0 0 m H 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技 1 砲丸投種競技	飯相 聖 (3年) 高 征 (3年) 佐 核 (3年) 本 飛 (3年) 和 藤 (3年) 本 間 (3年) 本 間 (3年) 本 間 (1年)	2 分 2 4 秒 9 3 2 分 2 0 7 秒 0 2 1 分 1 8 秒 4 7 1 分 1 8 秒 5 2 1 分 1 8 秒 4 4 1 分 1 4 秒 4 5 1 分 1 4 秒 2 2 1 分 1 4 秒 4 5
<第5位> 男子 1年の部	走高跳 1 0 0 m H 四種種競技	佐藤 碧心 (3年) 坂井 威千 (1年)	1 m 4 0 1 8 秒 3 3 点 1 3 4 0 点
<第6位> 男子 1年の部	8 0 0 m 4 × 1 0 0 m R	川飯 龍久 (2年) 上田 聖 (3年) 木野 一 (3年) 引士 晃 (3年) 本野 陽 (2年) 本仲 大 (1年) 本本 洋 (1年) 本多 多 (2年) 本多 愛 (1年)	2 分 2 1 秒 0 5 4 9 秒 5 6 5 分 2 0 秒 7 6 4 m 3 6 5 3 5 分 2 9 秒 1 5
<第7位> 男子 2年の部	1 0 0 m 4 0 0 m H 1 1 0 m H 1 0 0 m 4 × 1 0 0 m R	引野 大輝 (3年) 成屋 友樹 (2年) 坂原 威天 (1年) 本井 天遥 (2年) 本口 美香 (1年) 本間 子 (3年)	1 分 2 3 秒 6 3 1 分 3 3 秒 1 8 1 分 1 3 秒 7 3 1 分 1 3 秒 5 0 1 分 1 3 秒 5 1
<第8位> 男子 1年の部	走幅跳 1 0 0 m	引野 大輝 (3年) 小池 孝千 (1年)	4 m 8 5 1 3 秒 6 1 7
女子 1年の部	2 0 0 m	小 紗 (3年)	3 1 秒 0 0
女子 2年の部	走幅跳 1 0 0 m H	樋口 音々 (2年)	4 m 0 0
女子 1年の部	1 0 0 m H	松友 奈梨 (1年)	1 9 秒 8 4
女子 2年の部	4 × 1 0 0 m R	成瀬 天香 (2年) 樋口 天香 (2年) 山藤 莉奈 (2年) 齋藤 奈々 (2年)	2 2 秒 0 9 5 9 秒 3 5

賞状 3 2 枚 入賞 4 4

<野球部>

9日	予選リーグ				
	1回戦	対 畑野中	9—2	勝	
	2回戦	対 赤泊中	11—0	勝	
10日	決勝リーグ				
		対 佐和田中	1—8	負	
		対 両津中	2—1	勝	



準優勝 新潟地区大会出場

<バスケットボール部>

9日	予選リーグ				
	1回戦	対 金井中	80—25	勝	
	2回戦	対 佐和田中	79—39	勝	
10日	決勝トーナメント				
		対 畑野中	54—23	勝	
		対 両津中	75—74	勝 (延長戦)	



優勝 新潟地区大会出場

<卓球部>

9日	団体戦			
10日	個人戦			
		ベスト16	: 本間泰平 (2年)	
		ベスト32	: 内海哲志 (3年)	
		ベスト32	: 相田征慎 (3年)	
		ベスト32	: 土屋幸太 (2年)	

<バドミントン部>

9日	団体戦	6位	
10日	個人戦	個人戦新潟地区大会出場	
		ダブルス	本田千結、古藤静ペア (3年)
		シングルス	樋口天音 (2年)
			藤澤愛実 (1年)

<バレーボール部>

9日	予選リーグ	1回戦	対 金井中	0—2	負
		2回戦	対 佐渡中等	2—0	勝
10日	決勝トーナメント				
		1回戦	対 赤泊中	0—2	負

<ソフトテニス部>

9日	団体戦	1回戦	対 金井中	3—0	勝
		2回戦	対 佐渡中等	2—1	勝
		3回戦	対 真野中	1—2	負
		準決勝	対 赤泊中	0—2	負
10日	個人戦	団体3位 新潟地区大会出場			
		個人戦 新潟地区大会出場			
		優勝	本多千愛、本間香澄ペア (3年)		



<7月の主な予定>

1日 (水) 新潟地区体育大会 1日目	17日 (金) 保護者会③
2日 (木) " 2日目	20日 (月) 「海の日」
4日 (土) 新穂地区3校PTAスポーツ交流会	21日 (火) 校内球技大会
※午前中 (新穂中体育館「ドッチビー」)	22日 (水) 体育祭結団式
6日 (月) 全校朝会、職員会議	県大会激励会
9日 (月) 通信陸上大会	24日 (金) 終業式
13日 (月) 全校朝会、民生児童委員懇談会	県体育大会 1日目
14日 (火) 総合的な学習発表会 (2, 3年)	25日 (土) 県体育大会 2日目
15日 (水) 保護者会①	
16日 (木) 保護者会②	



平成27年度

新穂学校後援会便り

6月25日発行 事務局：新穂中学校

新穂学校後援会

会長 尾崎 清孝

会費納入についてのお願い

初夏の候、新穂地区の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

日頃より新穂学校後援会の事業につきまして、心からのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、平成26年度の事業報告並びに平成27年度の事業計画について、先日の新穂学校後援会評議員会でご承認をいただきました。

つきましては、今年度の会費を下記のように集めさせていただきたいと思っております。新穂学校後援会は、新穂地区の小・中学校に児童・生徒がいる家庭を「正会員」、いない家庭を「特別会員」として、会費をご寄付いただき、各学校で児童・生徒の諸活動に役立たせていただいております。決して強制的なものではありませんが、本会の趣旨をご理解いただき、会費納入にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

記

- | | | |
|------|--------------------------|--------|
| 1 会費 | 正会員・・・小・中学校に児童・生徒のいる家庭 | 一口700円 |
| | 特別会員・・・児童・生徒のいない家庭 | 一口500円 |
| 2 期日 | 正会員・・・6月12日（金）～7月24日（金） | |
| | 特別会員・・・6月25日（木）～7月24日（金） | |

- 3 納入方法 正会員 児童・生徒の学級担任へお願いします。
※小・中学校に兄・姉のいる児童・生徒は、兄・姉の学級へ納入してください。

特別会員 各集落の学校後援会評議員がお宅を訪問した際にお問い合わせください。

4 昨年度の報告

(1) 昨年の会費総額：542,100円

(2) 昨年度の主な用途について

新穂小学校	行谷小学校	新穂中学校
<ul style="list-style-type: none">・クラブ講師謝礼・学校田謝礼・スキー教室講師謝礼・保健教材ニュース 等	<ul style="list-style-type: none">・スキー教室講師謝礼・スキー教室レンタル代・陸上大会交通費・保健教材ニュース・遠足バス代補助 等	<ul style="list-style-type: none">・生徒会リーダー研修参加費・部活動団体登録費・部活動大会参加費（陸上、駅伝、野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、バドミントン、卓球） 等